

福祉のまちづくり推進協議会第 3 回専門部会の主な意見等

※令和 2 年 7 月 1 6 日開催

1 意見書全体について

- ・これまで進めてきた東京のまちづくりを今後、公共的な面、あるいは、大会に関係ない面まで広めることが私たちの仕事ではないか。
- ・都が意見書を示した後に、基礎自治体のほうでどう理解して進めていくかが大事。

2 福祉のまちづくりのこれまでの進展について

- ・これまで福祉のまちづくりは、単にハード面のバリアフリー化だけではなく、障害者社会参加等も含めて構築してきた。
- ・最近では、障害者権利条約、社会モデルの考え方、IPC アクセシビリティガイド等、国際的な動きの影響が非常に大きくなっている。

3 バリアフリー化の推進に向けた課題と方向性について

(1) 公共交通機関や道路等におけるハード・ソフト一体的整備のあり方について

- ・道路の視点をきちんとタイトルに含めていただきたい。
- ・神奈川県等で確認された車椅子対応トイレの夜間の施錠等、ハードができていても、それが使えないというのは、権利条約の精神に反している。
- ・今まではハードをどのように整備するかという点を中心に取り組んできたが、それに加えて、実際に利用者がきちんと使用できる環境にするという点も考えていかななくてはならない。
- ・ハードができていても使えない問題は、当事者参加によりある程度解決できるのではないか。
- ・無人駅等においてどのように障害者等のコミュニケーションを担保するのかを議論しなければならない。
- ・施設等を適切に利用できない問題を考えるにあたっては、「公共」のあり方を考える必要がある。
- ・都内にある各駅で、車椅子対応トイレの夜間の施錠状況がどうなっているのか、事務局で確認をしてほしい。

(2) 生活に身近な建築物等におけるバリアフリー化の推進のあり方

- ・整備基準の適合遵守義務がかからない建物を利用しやすくするために、ハード整備だけでなくソフト面の対応が必要。

(3) 災害時・緊急時等に備えた安全・安心のまちづくりの推進のあり方

- ・コロナ禍において、知事の緊急記者会見での手話通訳等、これからのバリアフリーにつながるものがあった。これで終わりにしないよう、これからも活用する必要がある。
- ・手話通訳は命に関わるかどうかでつける・つけないを判断するのではなく、生活の基本であるという点を考えるべき。
- ・手話通訳者が病院で通訳を行う場合等、介助者の身分保障を考えていかなければならない。
- ・オンライン化が進んでいるが、障害特性や経済的問題等によりオンラインの使用が難しい人もいる。
- ・精神障害の相談窓口となっている保健所が、現在、コロナにより負担が増加している。
- ・感染症と災害が重なって起きた場合の対応を具体的に検討していくことが必要。
- ・障害によっては、介助者が支援する際に密にならざるを得ない場合がある。どのように理解を得ながら支援する人をサポートしていくかという視点を意識する必要がある。
- ・災害時・緊急時に聴覚障害者は情報が得られないということはずっと言われており、自治体の職員の意識啓発も非常に重要。
- ・学校を避難所として使用することを想定して、車椅子用トイレを必要な場所に設置し、避難スペースからの経路を適切に整備する必要がある。
- ・避難所内だけでなく、避難所までの経路のバリアフリーも必要。
- ・コロナや災害は、これまで構築してきた障害者の社会参加や平等を崩してしまうという観点をもって、備えていかななくてはならない。
- ・各区市町村が新たな会議運営を考えるとときに、都がアクセシビリティの確保の仕方、会議運営の仕方、セミナーの開催の仕方等の指針を示せるといい。
- ・コロナ対策を取るかバリアフリーを取るかではなく、どちらも取り組む必要がある。

(4) ICT の活用等による情報バリアフリーの推進のあり方

- ・大会のアクセシビリティに関係する情報が様々なサイトで提供されているが、ポータルサイトやまとめサイトによる整理が必要。
- ・情報バリアフリーの内容を適切に分類して整理したほうがよい。
- ・Mobility as a Service（モビリティ・アズ・ア・サービス）において、これまで蓄積されてきた交通のバリアフリー関連のデータをどうやって新しいシステムに載せていくのかという点は、これからのICTの活用にとって大きな課題になる。

(5) 共生社会実現に向けた心のバリアフリーの推進のあり方

- ・差別をなくし、理解を深めるためには、自分の生活に結びつくことが鍵となる。
- ・教育関係の部署とどのように連携して、心のバリアフリーを推進していくのかといったことに関して、検討の余地がある。子供たちに対する教育プログラムも必要。